

除染・廃棄物技術協議会 第七期の活動について

2017年9月

除染・廃棄物技術協議会 事務局

2. 会員企業

【幹事会員】

代表幹事	鹿島建設株式会社
幹事	株式会社アトックス
幹事	大成建設株式会社
幹事	東京パワーテクノロジー株式会社
幹事	DOWAエコシステム株式会社
幹事	日本ガイシ株式会社

【発起人】 東京電力ホールディングス株式会社

【一般会員】 58社(建設・環境・放射線管理・輸送・廃棄物・製造・素材・コンサルティングなど)

【事務局】 株式会社三菱総合研究所

2. 会員企業(続き)

【一般会員 (58社 2017年9月現在)】

旭化成アドバンス株式会社	JFEエンジニアリング株式会社	日本通運株式会社
アジア航測株式会社	JFE環境株式会社	日本マタイ株式会社
株式会社安藤・間	株式会社シービーエス	株式会社パスコ
いであ株式会社	清水建設株式会社	日立GEニュークリア・エナジー株式会社
株式会社宇徳	株式会社神鋼環境ソリューション	株式会社日立製作所
エコボンド環境工学リサーチ株式会社	新日鉄住金エンジニアリング株式会社	日立造船株式会社
株式会社大林組	太平洋セメント株式会社	株式会社日立物流
株式会社奥村組	大豊建設株式会社	株式会社フジタ
株式会社上組	株式会社竹中土木	ポニー工業株式会社
株式会社環境管理センター	株式会社千代田テクノル	前田建設工業株式会社
クボタ環境サービス株式会社	槌屋ティスコ株式会社	三井住友建設株式会社
株式会社熊谷組	鉄建建設株式会社	株式会社三菱ケミカルリサーチ
株式会社クレハ環境	東亜建設工業株式会社	三菱重工業株式会社
株式会社京葉興業	東急建設株式会社	三菱マテリアル株式会社
原燃輸送株式会社	東洋建設株式会社	ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ株式会社
株式会社鴻池組	戸田建設株式会社	株式会社RSC
株式会社神戸製鋼所	西松建設株式会社	りんかい日産建設株式会社
五洋建設株式会社	日揮株式会社	若築建設株式会社
佐藤工業株式会社	日曹金属化学株式会社	
山九株式会社	日本国土開発株式会社	

2. 第六期の活動内容 (定例会)

第21回定例会 (2016年12月20日)

テーマ 除染・廃棄物技術協議会 設立五周年を迎えて

講演 除染・廃棄物技術協議会の五年間の活動を振り返って

14:30-15:50

- (1) 設立の経緯 東京臨海リサイクルパワー株式会社 社長 影山嘉宏様(元・東京電力 環境部長)
- (2) これまでの活動を振り返って 大成建設株式会社 佐藤和郎様(初代代表幹事)

第22回定例会 (2017年4月6日)

テーマ 福島浜通りの復興に向けて

講演 福島浜通りの復興に向けて

- (1) 福島復興再生特別措置法の改正等について
- (2) 双葉町の復興について
- (3) イノベーションコースト構想について

復興庁原子力災害復興班参事官 遠藤健太郎様
双葉町 復興推進課 主幹 網蔵孝紀様
経済産業省 大臣官房 福島復興推進グループ
福島新産業・雇用創出推進室 室長 黒田浩司様
イノベーションコースト構想推進企業協議会
運営委員 北村秀哉様
(東京電力ホールディングス株式会社)

- (4) イノベーションコースト構想推進企業協議会の活動

2. 第六期の活動内容 (定例会)(続き)

第23回定例会 (2017年6月22日)

テーマ 除去土壌等の減容・再生利用

講演 除去土壌等の減容・再生利用等に対する取組

- (1) 中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用について 環境省水・大気環境局中間貯蔵施設担当参事官室
参事官補佐 山田 浩司様
- (2) 除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合について
除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合
専務理事 山下正芳様
(公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団)
- (3) 南相馬市における除去土壌の再生利用実証事業について
除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合 理事
高田博充様(清水建設株式会社)

報告 「平成28年度 除染土壌等の減容等技術実証事業」

- (1) 株式会社大林組 「除去土壌の土質判別システムの開発」
- (2) 大成建設株式会社 「アルカリ洗浄による粘土鉱物溶解および分級による除染土壌の減容化」
- (3) JFEエンジニアリング株式会社 「除染土壌等に対する異物除去技術の開発」
- (4) クボタ環境サービス株式会社 「溶融技術による分級後細粒土壌の高度減容化処理に関するプラント実証評価」
- (5) 株式会社安藤・間 「連続式土壌濃度測定分別装置を用いた土壌分別および分別しやすい土壌改質の実証」
- (6) りんかい日産株式会社 「洗浄分級で発生する高含水比粘性土の減容化と脱水ケーキの人工砕石としての再利用」
- (7) 日立造船株式会社 「中間貯蔵施設における自動搬送実証」

第24回定例会 (2017年8月31日)

テーマ 環境省の除染・廃棄物問題への取り組みについて

- 講演 「資源循環・環境回復局の組織と役割について」 環境省 環境再生・資源循環局
総務課 課長補佐 平尾禎秀 様

2. 第六期の活動内容 (第5回シンポジウム)

【日時】 平成28年11月16日(水) 10:30～17:00

【場所】 福島市公会堂

【開会ご挨拶】

【講演】福島第一原子力発電所事故からの環境再生への取り組み

(1) 福島における環境再生への取組

環境省 福島環境再生事務所 所長 土居健太郎様

(2) JAEA 福島環境安全研究センターにおける取組

日本原子力研究開発機構 福島環境安全センター センター長 宮原 要様

(3) 国立環境研究所・福島支部における取組 ～土壌・廃棄物問題を中心に～

国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長 大迫政浩様

【講演】福島の実況と復興に向けた取組

福島県 企画調整課 副課長 佐藤安彦様

【休憩、ポスターセッション】

【除染・廃棄物技術協議会活動報告】

除染・廃棄物技術協議会の活動について

ロジスティクスマネジメントWG

減容・再生利用WG

参加人数： 142名、うち協議会会員企業から101名。協議会会員企業以外の主たる参加機関は以下の通り。

【国など】 環境省

【自治体など】 福島県、桐生市

【報道機関】 福島建設工業新聞社

2. 第六期の活動内容(ワーキンググループ活動)

- **ロジスティクス・マネージメントWG** (2014.4～一部継続中)
中間貯蔵施設への大量の土壌及び廃棄物の輸送に貢献する技術を検討している。第三期までは、「荷姿と運搬方法」、「運搬従事者の被ばく管理」、「情報システム」の検討を行い、第四期以降、「積込場」、「焼却灰等輸送」、「事故対応」に関する検討を行ってきた。第五期で、「積込場」及び「事故対応」に関する検討を終え、環境省、福島環境再生事務所、JESCOなどに報告した。現在は「焼却灰等輸送」に関する検討を継続中である。
- **廃棄物関連WG(第Ⅱ期)** (2017.4～継続中)
中間貯蔵施設建設や帰還困難区域の復興拠点工事から生じる主に不燃物を中心とした廃棄物の処理とリサイクルに関して検討を行うために、一度活動を休止した廃棄物関連WGを再度立ち上げて検討を行っている。
- **減容・再生利用WG** (2016.4～継続中)
中間貯蔵施設に貯蔵され、福島県外で最終処分する焼却灰等の量を極力減らすことを目的として、効率的な減容処理と、これに伴い発生する副産物を資材等として再生利用するための検討を行っている。第六期は、焼却灰等の減容処理の生成物の再生利用に関する検討を行っている。
- **中間貯蔵施設維持管理WG** (2017.6～継続中)
中間貯蔵施設の建設／運用／維持管理の各フェーズにおいて、とくに電離則や特措法、廃掃法の観点から、管理方針(管理区域の設定方針を含む)及び管理項目を整理・検討し、技術的課題を抽出・整理する。また、これに適用可能な技術の概要及び課題を抽出・整理し、会員企業が保有する技術をとりまとめた「技術集」を作成する。

3. 第七期の活動内容案

(1) 定例会 …… 継続

除染及び廃棄物の処理・処分に関する国や地方自治体の動向及び活動の紹介、成功事例の報告など、会員の活動に資する情報共有とこれらに関する議論

(2) 技術情報集の作成 …… 継続

会員から収集した除染・廃棄物関連の技術情報を基に、除染・廃棄物技術を目的・分野ごとに整理した技術情報集を作成し、会員企業間で共有する。

(3) ワーキンググループ活動 …… 継続(次ページ)

会員企業有志によるワーキンググループ(WG)を設置して、除染及び廃棄物処理処分に関する様々な課題を、実際に作業に携わる企業の視点から検討し、国や自治体が実施する除染事業の効果的・効率的な実施に資するための資料としてまとめ、公表する。

(4) 会員相互の情報交換の場の提供 …… 継続

会員同士の技術的な情報交換や協力を促進するために、会員間の技術協力等の申し入れを、事務局にて仲介する。

(5) その他

関係機関との意見交換(WG活動の一環)、環境省等からの協力依頼への対応

3. 第七期のWG活動

減容・再生利用WG、中間貯蔵施設維持管理WGの活動を第六期から継続する。

(1) 減容・再生利用WG

当初の予定通り、次の五項目の検討を進める。

1. 処理フローの検討 (第五期)
2. 技術の組み合わせによるメリットの効果の検討 (第五期)
3. 再生土壌や焼成物の利用 (第六期)
4. 処理コスト試算 (第七期以降)
5. 濃縮物の安定化、保管に関する検討 (第七期以降)

(2) 中間貯蔵施設維持管理WG

第六期に引き続き、管理項目の整理・検討、技術的課題抽出・整理、「技術集」の作成、を実施していく。

4. その他の活動

(1) 環境省などの国の施策への協力

環境省、福島環境再生事務所、JESCOなどの関係機関と随時、意見交換を行い、そのニーズに応えたWG活動等を行うことにより、国の環境回復政策の遂行に資する。

(2) 外部の研究会等との連携・協力

これまでに引き続き、次のような団体の活動と連携・協力して、福島環境回復・復興に資する。

- ・ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会（福島県、など）
- ・TIA 連携プログラム「かけはし」ワークショップ
（国環研、産総研、農研機構など）
- ・環境放射能除染・廃棄物処理国際展（RADIEX）
- ・環境放射能除染学会
- ・イノベーションコースト構想推進企業協議会
- ・除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合（VOREWS）など